

つたえるけん 佐々町

地域が元気だと商売もうまくいく
地域の発展を願う青年たちが企画した
「佐々町ゆめづくりプロジェクト」には
未来を担う若者たちの夢が
詰まっています



今月のつたえるひと うえの はら みち とも 上ノ原陸友さん

佐々町出身、40歳。佐々町商工会青年部の部長。「地域と共に」を合言葉に町の活性化に取り組んでいる。



佐々町農業体験施設

自然の中にあり、体験農園のほか、宿泊棟などを備えています。展望台からの眺めは絶景で、特に夕日は感動しますよ。
問合せ：☎0956-62-6368



佐々川

川沿いの遊歩道はジョギングに最適。2～3月下旬までは兩岸に多くの足場が並び、名物のシロウオ漁が行われます。約260本の河津桜と併せて風情を楽しめます。

佐々町は暮らしやすさ満点！
多彩なイベントで
住んでも訪れても楽しい町へ

佐々町は佐世保市の隣に位置し、佐々川をはじめとする美しい自然に恵まれた静かで穏やかな町です。住環境がとて良く、子育て世代はもちろんのこと、高齢になってからも暮らしやすい町だと思います。

私が部長を務める佐々町商工会青年部のメンバーは現在24名。商工業者の経営力向上が地方創生につながるという思いから、講習会や勉強会などで学びを深めると共に、事業を行っている地元を盛り上げるためのさまざまな活動にも取り組んでいます。「佐々町ゆめづくりプロジェクト」もその一つで、特にイベントの多くに青年部のメンバーが関わっています。今年で5回目となる「恋活」イベント「佐々から始まる恋物語」は、毎回多くの参加者があり、アウトドア活動などを通じて親睦を深めていただいています。イベント終了時間を町内の飲食店の開店時間に合わせているため、仲良くなったグループやカップルはそのまま町内で飲食を楽しみむことができます。佐々町の魅力に触れていたいただき、商店街の活性化にもなっていることがうれしいですね。

夏は佐々川は鮎釣りの名所です。
「佐々から始まる恋物語」の会場でもあります。
初夏には茶摘み体験も実施していますよ。
標高360mの高原に無農薬有機栽培に取り組んでいる「北村製茶」の茶畑が広がっています。

佐々町皿山公園
季節ごとの美しい花々が楽しめるほか、復元された皿山窯で陶器作り体験もできます。直売所では、佐々町の新鮮な特産品を販売しています。

古川岳展望所
全長3.3kmの遊歩道は多少のアップダウンはありますが森林浴もできて気持ちいいですよ。展望台からは町の全景を見渡す最高の眺めが楽しめます。

佐々川名物のシロウオ漁は、この辺りで行われます。

多目的グラウンドや屋内運動場があり、テニスやゲートボールも楽しめます。

レモンステーキソース
「無国籍料理ガラム」で一番人気のメニュー「レモンステーキ」に使われているステーキソース。どんな料理にも合う万能ソースです。
問合せ：無国籍料理ガラム ☎0956-62-4484

表紙のはなし
『古川岳から望む夏祭りの花火』
佐々町の夏の夜空に打ち上がる花火は、町内のあちこちから楽しむことができ、川面に映る大輪の花火は幻想的な美しさで見ると魅了します。

佐々町認定特産品から
おすすめのお土産を紹介します



民吉もなか
「磁祖」として知られる加藤民吉が佐々町で修業したことにちなんで、彼が作ったとされる柏の葉の形をした血をかたどって作られたもなかです。
問合せ：叶家末廣 ☎0956-62-3227



佐々町夏祭り花火大会
毎年大好評のフットサル大会やミニ四駆大会に加え、今年は新たに佐々町文化会館に「おぼけ屋敷」がオープン。夜はライブやダンスなどのステージイベント、盆踊りが開催されます。花火の打ち上げは20時20分スタートです。
と き：8月18日(日) 13:00～22:00
と ころ：サン・ビレッジさざ(佐々町小浦免)
問合せ：佐々町ゆめづくりプロジェクト 花火大会実行委員会 ☎090-7157-6664



佐々から始まる恋物語
友だちや恋人づくりのきっかけとして、気軽に参加してほしいという思いから、「婚活」ではなく、あえて「恋活」イベントと呼んでいます。青年部でプロモーションビデオを制作するなど広報活動に力を入れた結果、町外からの参加者も増えました。毎回3組ほどのカップルが誕生し、中にはめでたく結婚された方もいます。開催案内は「佐々町ゆめづくりプロジェクト」のFacebookで行っています。
問合せ：佐々町商工会青年部 ☎0956-62-3171

また、毎年8月に開催する夏祭り花火大会は、今年で56回目を迎える町を挙げての大きなイベントです。夜の花火大会はもちろん、昼間のフットサル大会も好評で、昨年は県内外36チームの参加があり大盛況でした。
この夏祭り花火大会は、商工会と町が共同で開催していたものをさらに盛り上げていくために、数年前から青年部が主体となって実施しています。イベントや祭りは若い力で継続してこそ意味があると思います。今の子どもたちが楽しんで祭りが大人になっても続いていくように、青年部のアイデアや行動力を生かして、新しいまちづくりの推進力になれるよう頑張っていきたいと思っています。